

令和元年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 島 崎 真 治

○ 令和元年度重要事業

事業名	地域公共交通計画の見直し
目 標	持続可能な地域公共交通となるよう、地域の特性等に応じた、効率的かつ効果的なコミュニティバス運行のあり方など、市の交通施策の指針となる計画を策定します。
年度末達成状況	学識経験者等で組織する協議会や、パブリックコメント等の意見を踏まえ、市の交通施策の指針となる「射水市地域公共交通網形成計画」を作成しました。
自己評価	当初目標のとおり、市の交通施策の指針となる計画を策定することができました。今後は、この計画に掲げた目標を達成するため、各種施策を実施していきます。

事業名	協働のまちづくり事業の推進
目 標	市民の方にまちづくりへの理解や関心を深めてもらうため、引き続き「射水まちづくりプラットフォーム」を実施することに加え、まちづくりに興味を持つ市民のスキルアップやネットワーク形成につなげる「まちづくりオープンセミナー(仮称)」を新たに実施し、協働のまちづくりの担い手育成に取り組みます。
年度末達成状況	市内の人材及び人的ネットワークを活用するため、射水まちづくり大学同窓会に委託し、「射水まちづくりプラットフォーム」に加え、新たに「射水まちづくりセミナー」を各3回実施し、協働のまちづくりの担い手となる人材育成に取り組みました。
自己評価	事業を外部委託し、新たに「射水まちづくりセミナー」を開催するなど、地域資源や人材を活用することにより、多面的で充実した事業内容となり、目標は概ね達成できました。 今後も、協働のまちづくりの基盤を強化するため、新たな担い手育成に取り組みます。

事業名	衛生施設(衛生センター・野手埋立処分所)の整備方針の策定
目 標	衛生センター(し尿処理施設)は、下水道の普及により、施設規模の縮小等が必要であることや、野手埋立処分所についても、令和10年度(2028年度)に埋立てが完了する予定であることから、両施設について、今後の整備方針を定めます。
年度末達成状況	衛生センターについては、適正な処理量を想定し整備手法の比較検討を行うとともに、野手埋立処分所では、新設または増設した場合のランニングコスト等の比較検討を行いました。
自己評価	当初目標のとおり、衛生センター、野手埋立処分所の整備方針を概ね定めることができました。引き続き、両施設の整備計画等の策定に努めていきます。